

# 環境技術が、 走り出す。



川崎重工の環境テクノロジーが、またひとつ実を結びました。

バリアフリーでの乗降、架線なしでの走行、高効率のエネルギー利用を実現した、  
超低床の電池駆動路面電車「SWIMO」。

近い将来、その姿が世界中の街で見られるようになるでしょう。

SWIMO=Smoothな乗降、Smoothな非電化区間への直通運転を達成 (Win)する移動手段 (MOver)です。

## SWIMO 超低床電池駆動路面電車LRV (Light Rail Vehicle)

10km以上の非電化区間走行を実現(架線不要)

超低床を実現するため  
主要機器は屋上に配置



ブレーキ時の回生電力を有効に活用

出入り口部の床高さ330mm、  
車椅子も楽々乗降可能

## SWIMOニューデザイン



いま、世界中の都市で、環境負荷を低減する交通機関として、路面電車が注目されています。人と地球にやさしいテクノロジーの開発を推進する川崎重工は、これまでに培ってきた高度な車両技術と電池技術を活用、電池駆動路面電車「SWIMO(スイモ)」を誕生させました。SWIMOは低床化を極限まで徹底し、バリアフリー化を実現。蓄電池「ギガセル」を搭載することで、回生ブレーキ時の電力を有効

利用、エネルギー効率をいっそう高めるとともに、架線なしでの走行も可能にしています。これからも、川崎重工は環境技術を核に広範な技術を結集、人と地球へのやさしさを、次々にカタチにしています。



**ギガセル®** SWIMOは、高速充放電が可能で、リサイクルも容易な大型ニッケル水素蓄電池「ギガセル」を搭載しています。「ギガセル」はSWIMOをはじめ、風力発電や太陽光発電などのエネルギー出力を安定させる装置としても使用されています。

# Kawasaki